

会議名	平成 30 年度第 1 回板橋区地域自立支援協議会		
開催日時	平成 30 年 7 月 2 日 (月) 10 : 00 ~ 12 : 00		
開催場所	板橋区役所北館 9 階 大会議室 B		
参加者	<p>【委員等 12 名】是枝会長、石川副会長、木下委員、會田委員、小島委員、米山委員、片山委員、内田委員、三代瀬委員、中山委員、清水委員、鈴木委員、齊藤委員代理渡辺氏、峰松委員</p> <p>【オブザーバー 3 名】水田予防対策課長代理山本氏、河野おとしより保健福祉センター所長、大澤志村福祉事務所長</p> <p>【事務局 8 名】七島福祉部長、星野障がい者福祉課長、保泉管理係長、木下、望月地域生活推進係長、砂川、鈴木、橋口、荒井</p>		
会議の公開	公開 (傍聴) できる	傍聴者数	4 人
次第	<p>1. 開会・会長挨拶</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 平成 29 年度板橋区地域自立支援協議会のまとめ</p> <p>(2) 平成 30 年度第 1 回相談支援部会報告</p> <p>(3) 平成 30 年度第 1 回高次脳機能障がい部会報告</p> <p>(4) 平成 29 年度第 2 回就労支援部会報告</p> <p>(5) 板橋区障がい福祉計画について</p> <p>3. その他</p> <p>(1) 各委員の現状・板橋区の障がい福祉についての意見交換</p> <p>4. 閉会・副会長挨拶</p>		
配布資料	<p>資料1 板橋区地域自立支援協議会 第 6 期委員名簿</p> <p>資料2 平成 29 年度板橋区地域自立支援協議会のまとめ</p> <p>資料3 平成 30 年度第 1 回相談支援部会報告書</p> <p>資料4 平成 30 年度第 1 回高次脳機能障がい部会報告書</p> <p>資料5 平成 29 年度第 2 回就労支援部会報告書</p> <p>資料6 板橋区障がい福祉計画について</p> <p>当日配布資料 障害児支援施策の動向「医療的ケア」関連</p>		

1 開会・会長挨拶

是枝会長より開会の挨拶が行われた。

2 報告事項**(1) 平成 29 年度板橋区地域自立支援協議会のまとめ**

事務局より、資料 2 のとおり報告が行われた。

(2) 平成 30 年度第 1 回相談支援部会報告

中山委員（相談支援部会長）より、資料 3 のとおり報告が行われた。

(3) 平成 30 年度第 1 回高次脳機能障がい部会報告

會田委員（高次脳機能障がい部会長）より、資料 4 のとおり報告が行われた。

(4) 平成 29 年度第 2 回就労支援部会報告

内田委員（就労支援部会長）より、資料 5 のとおり報告が行われた。

○厚生労働省からの定着支援事業にかかわる公的な発表が延期したため、今回は年度末の開催となった。

○定着支援事業に関して各支援センターは、4月1日からの事業展開は厳しく、9月末まで経過措置、移行措置があるため、それまでには指定の認可を取りに行く事業所がほとんどであった。

○ハート・ワークは、29年度87名の就職者がおり、前年度より約4割程度の増加ができた。

○定着支援としては、障害者雇用では、精神障がい者の就労・雇用率カウントとなり、民間企業の雇用率が2%から2.2%に引き上げされた。

傾向として精神障がいの軽度の方が主な割合ではあるが、中度の方、やや重度の方を採用したという好ましい傾向もみられる。

(5) 板橋区障がい福祉計画について

事務局より、資料 6 のとおり報告が行われた。

<質疑・意見等>

○米山委員より当日配布資料について報告が行われた。

3 その他

各委員の所属における現状・板橋区の障がい福祉についての意見交換を行った。

<以下抜粋>

- ・精神障がい者の雇用に関して、企業側から前向きな話が多い。
- ・知的障がい者や精神障がい者の雇用をしたとしても、上手く定着していけるかには非常に時間がかかり、障がい特性を把握すること自体も企業だけでは難しく、現在各企業の課題になっていると思われる。
- ・障がいのあるお子さんたちの早期支援というところで障がい児福祉だけでなく、母子保健のところからしっかりと協議をしていき実践していきたい。
- ・特別支援学校に通う児童と地域の児童との関わりが少ないという課題があるが、副籍制度等を活用し、交流の充実を図っていきたい。

議事内容

- ・成人した医療的ケアのある障がい者についての支援施設がまだ不足していると感じている。
- ・大人の発達障がいの支援が大きな課題となっている。
- ・地域生活支援拠点等の整備について検討を進めていく必要がある。

4 閉会・副会長挨拶

石川副会長より、閉会の挨拶が行われた。